

# 沼津高架P Iプロジェクト



報告事項3 ステップ6 推奨案選定について

【第12回P I委員会】

# ステップ6の進め方

詳細に検討する案を7案に絞込み

代替案の比較評価

第11回PI委員会等において推奨案の候補について7案では多いと指摘

勉強会<合同>第7回  
10/19(土)

代替案について7案から4案に絞込み

オープンハウス・広報紙

沼津高架PIプロジェクト推進本部にて4案の推奨案の候補を選定

# 選定の考え方

これまでのPI活動を踏まえ、PIプロジェクト推進本部として、「Step2 地域づくりの目標」のテーマ①広域レベルを鑑み、以下の観点から推奨案の候補を選定した。

## ①県東部地域における拠点形成

広域的な視点から、沼津市はその個性と魅力を活かし、県東部地域の拠点としての各機能を確保することが求められる。

## ②投資規模の妥当性

大規模な公共投資が市財政へ過度な負荷とならないかという懸念に関する確認。

## ③実現化までの期間の考慮

早急な対策が求められている状況を踏まえ、実現化までの期間を総合的に判断することが必要である。

# 選定の根拠

## 代替案 2

- 駅周辺では総合整備事業を実施し、原地区に移転した貨物駅の物流機能を活用して原地区を拠点地区として位置づけ、両地区に大きな投資効果を狙う案

- 駅周辺では、居住・交流人口の増加、駅南北の自動車・歩行者交通の抜本的改善が他の案に比べて期待できる。
- 原地区では幹線道路等の骨格的な基盤整備と計画的な土地利用を規制誘導し、地域資源を保全・活用した地域整備を目指す。
- 公共投資と民間投資の相乗効果を発揮させて賑わいを生み出すソフト策を含めた対策を追加することも可能であり、現計画よりも事業費が増加する可能性がある。
- より効率的な事業とするため財政への負担軽減の観点から、コスト削減努力が求められる。
- 原地区における貨物駅用地の確保が不確実性を高める主な要素である。

# 選定の根拠

## 代替案 4

- 駅周辺では総合整備事業を実施し、貨物駅を原地区に移転せず、貨物駅予定地を種地として活用して、原地区を沼津市西部の拠点地区として位置づけ、両地区に大きな投資効果を狙う案

- 駅周辺では、居住・交流人口の増加、駅南北の自動車・歩行者交通の抜本的改善が他の案に比べて期待できる。
- 原地区では幹線道路等の骨格的な基盤整備と計画的な土地利用を規制誘導し、地域資源を保全・活用した地域整備を目指す。
- 公共投資と民間投資の相乗効果を発揮させて賑わいを生み出すソフト策を含めた対策を追加することも可能であり、現計画よりも事業費が増加する可能性がある。
- より効率的な事業とするため財政への負担軽減の観点から、コスト削減努力が求められる。
- 鉄道事業者の意向に大きく左右される案である。

# 選定の根拠

## 代替案 9

- 駅周辺地区では総合整備事業を実施せずに課題解決を図り、原地区では貨物駅予定地を種地として活用して原地区を沼津市西部の拠点地区として位置づけ、両地区に大きな投資効果を狙う案
  - 駅南北の幹線道路の立体化整備や橋上駅、自由通路を整備することで事業費を大きく抑えることが可能となる。
  - 歩行者の南北動線は確保されることにより、市街地の回遊性の確保が可能となる。
  - 幹線道路の立体化整備を行えば、南北交通には一定の効果は表れるが、沿道への影響や新たな市街地の分断が生じるなどの課題があり、必ずしも改善が図られるとは言えず、居住・交流人口の増加が図られたとしても、それを受け止める交通体系が確保されないことから、機能的で暮らしやすい市街地の形成が課題として残る。
  - 大幅な都市計画変更と幹線道路の立体交差に伴う中心市街地での用地確保が不確実性を高める主な要素である。

# 選定の根拠

## 代替案 10

- 沼津駅周辺地区では整備を限定して事業費を抑え、貨物駅予定地を種地として活用して原地区を拠点地区として位置づけ、重点整備する案

- 橋上駅や自由通路を整備することで事業費を大きく抑えることが可能となります。
- 歩行者の南北動線は確保されることにより、市街地の回遊性の確保が可能となる。
- 居住・交流人口の増加が図られたとしても、それを受け止める交通体系が確保されないことから、機能的で暮らしやすい市街地の形成が課題として残る。
- 原地区西側ゾーン整備の事業主体の決定が、不確実性を高める主な要素である。



# 選定の根拠

		沼津駅周辺地区							
		沼A-1 総合整備型 第1案	沼A-2 総合整備型 第2案	沼A-3 総合整備型 第3案	沼B-3 個別対応型 第3案	沼B-4 個別対応型 第4案	沼B-5 個別対応型 第5案	沼B-6 個別対応型 第6案	沼B-7 個別対応型 第7案
原地区	原A 物流機能を活用した全体整備案	代替案1 広域A	★代替案2 広域A	—	—	—	—	—	—
	原B 種地を活かした先行的機能導入案	代替案3 広域C,D	★代替案4 広域C,D	代替案5 広域D	★代替案9 広域B 広域B		★代替案10 広域B 広域B		代替案11 広域B
	原C 小規模整備案	代替案6 広域C,D	代替案7 広域C,D	代替案8 広域D	代替案12 広域B 広域B		代替案13 広域B 広域B		代替案14 広域B

いずれの案も固有の不確実性を含んでおり、これ以上の絞り込みは不可能と判断。

➡ 代替案2、代替案4、代替案9、代替案10を推奨案の候補として選定する。